

2011年11月発行 / 編集・新聞地周辺地区まじくり協議会 特定非営利活動法人 新聞地まじくりNPO

アレツ・新聞地

Allez Shinkaichi
「行こうや新聞地」

Vol.51



今月のメインゲスト・
インタビュー

高富那生が思い描く新聞地の世界へ

おいしい冬の「駅」は
じんわり伝わる温かみ

アツアツ、ホカホカ
ふんわり湯気を上げながら
ふかふか、もちもち
寒さ忘れてかぶりつく。
持つ手に伝わる温もりも
冬ならではの味のうち。

高富那生

1978年岐阜生まれ。
受賞歴「第4回コンボイ
メント絵本コンペ」入選「メ
カネをみて」第2回講談社絵本新人賞
佳作「もかたさき」現在、絵本作家
イラストレーターとして、ワークショップ
や講演など幅広く活動中。東京在住。



まちを楽しむ人々を直撃！

YOUは何しに新開地へ？

老若男女の幅広い世代がこのまちを訪れる理由とは？
新開地を訪れた人々のリアルな声を、新開地ツアーガイド・ニシジマが
直撃インタビューで紹介！



夜更けのラーメンはここが定番 新開地との縁も麺のように 細く長く続いています

地元の垂水から修業のために大阪に出て、神戸に戻ってきたのが13年前。新開地の近くに住まいを移したのが、こちらのお店に通うきっかけでした。大のラーメン好きであちこちよく行くのですが、ここは多い時は週1回くらい来ていましたね。仕事終わりや呑んだ後ののびに行くことがほとんどで、定番の中華そばとライスの組合せがお決まり。醤油ベースの濃厚なスープと細麺のつるっとした喉越しは相性抜群ですよ。このお店だけでなく、落語会はもちろん、新しい演芸場の建設にも関わっている新開地は、長くご縁がある街。聚楽館や松竹座があった時代は知らないけれど、地元で常設の小屋ができるのは嬉しいし、昔の活気が戻ってほしいですよ。新開地に来ることもさらに増えるから、終わった後に行くお店をもっと開拓しとかないと(笑)。



神戸っ子ラーメン

【住】新開地4-6-24 【電】078-575-7656

【時】11:00~14:00、18:30~翌1:30

【休】水曜

創業30年の老舗。醤油ベースの中華そば、豚骨100%の白らあめんなど定番4種のほか、中華そばをシンプルにアレンジした元そばも人気。神戸系のパンチの効いた味わいはライスやビールとの相性も抜群。

No.1

桂三ノ助 | 46歳 | 落語家
趣味: 野球
好きな食べ物: ラーメン、そばめし

味噌ダレでいただく豚まんは 家族みんなの大好物です

友達と休みを合わせて新開地で会うことになったので、豚まんを買いにきました。私は神戸に嫁いできてから勤務先で教えてもらいましたが、地元出身の宮崎さんからは、昔は知らない人がいないくらい有名な中華料理店だと聞きました。お昼が遅くなった時、ここで食べることもあります。お値段もサイズも手頃で、神戸独特の味噌ダレが美味しいですよ。義父が昔から好物で、今は東京にいる娘に送ったり、実家に送ったり、家族みんなが春陽軒のファンになっていますね。



春陽軒

【住】新開地2-7-5 【電】078-575-0078
【時】10:30～売切次第終了 【休】日曜
大正14年に“元祖和風中華料理”を掲げた初代が創案した豚まんは、新開地グルメの代名詞的存在。自然発酵で熟成させるふっくら生地と味噌味の餡の取合せが絶妙。

No.2

松本ふみ子(右) | 70歳 | 会社員
趣味:旅行 好きな食べ物:フルーツ、漬物
宮崎圭子(左) | 62歳 | 会社員
趣味:旅行 好きな食べ物:ケーキ



No.3

酒井八郎(右) | 76歳 | 会社員
趣味:社交ダンス、スケッチ 好きな食べ物:魚、フルーツ、野菜
松本 弘(中) | 65歳 | 会社員
趣味:ウォーキング 好きな食べ物:酒、サラダ
茂出木 亮(左) | 38歳 | 会社員
趣味:スポーツ観戦 好きな食べ物:寿司

ハモの造りは他にない名物 おいしい魚でお酒も進みます

今日は、東京から出張中の取引先の方との懇親会で、こちらに伺いました。子供の学校を通じてご主人と知り合って以来、魚が食べたい時はここに来ることが多いです。中でも、名物のホホ肉の天ぶらは必ず注文する一品です。地元がこの辺りなのですが、新開地のええところは、お店や人が肩肘張らないところ。ふとしたことで触れ合いが生まれる、独特の雰囲気は昔から変わらずあるんですよ。1年を通して色んなお祭があって、歴史を感じさせる土地柄も、街の魅力の一つですね。

ととや

【住】湊町3-2-9 【電】078-576-6100
【時】17:00～22:00頃 【休】日曜・祝日
老舗蒲鉾店「三笠屋」が手がける和食店。新鮮な魚介が中心の幅広い品書きの中でも、看板のハモ料理は皮の炙りや稀少なホホ肉の天ぶら、季節によっては湯引き、肝刺などハモ尽くしが楽しめる。

新開地 新八景

「理容天龍」高聖さん

たかきよし



撮影

太田未来子

兵庫区出身の
フォトグラフ
アー。大阪芸術
大学写真学科

卒。中学生の時から一眼レフで写真を撮り
始め、趣味が高じて撮影を生業とする。一
瞬を切り取ることができる写真のチカラ
で、新開地の町の魅力を伝えていきたい。



何気ない会話も大切な仕事
常に一期一会を胸に秘めて
髪も、心も整える粋な理髪師

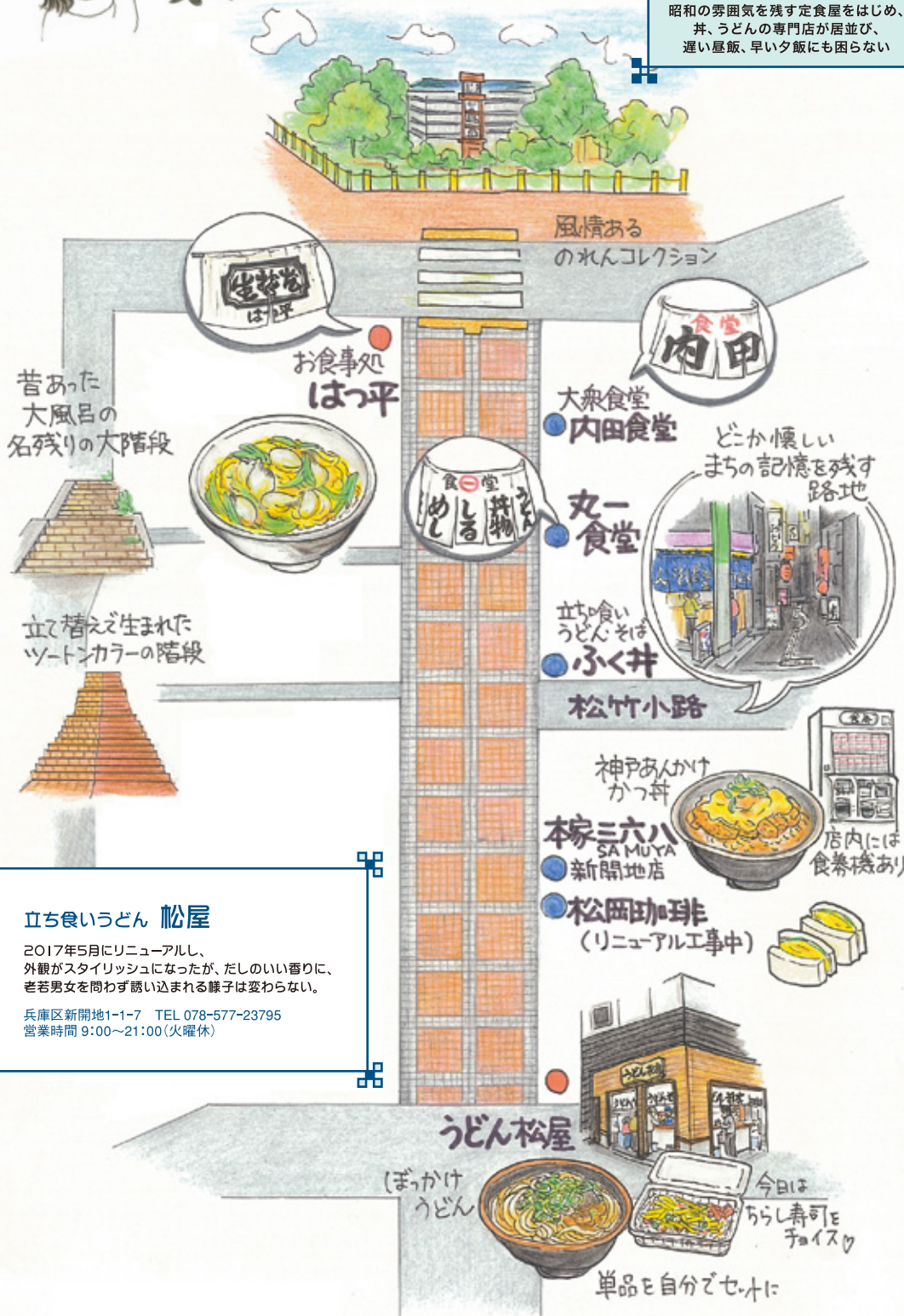
10年ほど前から、4代目として店に立つ高さん。幼い頃から先代の仕事を見て、店を継ぐことは当たり前と思っていたが、見るとやるとでは大違い。「最初はやっぱりごつつい緊張しました」と笑う高さんは、理容学校卒業後、大阪の伯父の店で修業し、神戸に戻って間もなく震災に遭遇。「毎日が年末みたいな忙しさでしたが、その中で鍛えられました」と、早くから仕事を任せられたことで、実践を通して腕を磨いてきた。

とはいえ、単に髪を切るだけが理髪師ではない。「理髪店は世代や職業も関係なく、様々なお客さんと接する場所。うちはアットホームなので、話だけに来る方も多いですよ」と高さん。日常の何気ないコミュニケーションも理髪師の大事な仕事。その積み重ねの中で、長年通った子供が成長したり、引越して街を離れるお客もいたり、身近に多くの人生模様を見つめてきた。それだけに、「今、来られているお客さんを大切にしたい。一期一会を念頭に常に全力を傾けています」。髪型に流行り廃りはあれども、お客に喜んでもらう仕事の醍醐味は今も昔も変わらない。「早くして丁寧」をモットーに、今日も街に男前を送り出す。

かいて探して飲んで食べた
新開地マニアなかはらの
新開地放浪記

新開地 | 丁目編

新開地商店街の北入口。
 昭和の雰囲気を残す定食屋をはじめ、
 丼、うどんの専門店が居並び、
 遅い昼飯、早い夕飯にも困らない



立ち食いうどん 松屋

2017年5月にリニューアルし、
 外観がスタイリッシュになったが、だしのいい香りに、
 老若男女を問わず誘い込まれる様子は変わらない。

兵庫区新開地1-1-7 TEL.078-577-23795
 営業時間 9:00~21:00(火曜休)

※詳細は各会場にお問い合わせください。

●12/18(月)~29(金)

「はじまりへの旅」「ちょっと今から仕事やめてくる」(2本立)

●12/30(土)~18.1/12(金)

「美女と野獣」「ハイジ アルプスの物語」(2本立)

●18.1/21(日)

「第94回新開地寄席」毎月第3日曜日開催

【時】15:00開演(14:30開場) 【場】新開地まちづくりスクエア

【出演】桂 雀三郎、桂 小春團治、笑福亭鶴二、桂 りょうば

【¥】1,500円(予約券・当日券共) 【受】11/21(火)より電話予約受付中

●12/16(土) 短歌ワークショップ「まちを素材にコトバと遊ぶ」(地域)

●2/3(土)~12(日) 「NEW OPEN AREA 2017 山内庸資×兵庫大開小学校」(地域)

●2/3(土) 節分ワークショップ「NEW恵方巻き」(地域)

●1/19(金)~21(日) コンテンポラリーダンスのためのメソッドワークショップシリーズ vol.3

「岡登志子ダンスワークショップ」(演劇)

●1/25(木)~28(日) 匣の暗「パノラマビールの夜」(演劇)

●2/1(木)~27(火)

花の三兄弟 筑紫桃太郎一座(大衆演劇)

●11/25(土)~12/1(金)・12/9(土)~15(金)

「ドクター・エクソシスト」(レイトショー)

●12/2(土)~8(金)・12/16(土)~22(金)

「ゴースト・ブライド」(レイトショー)

今回の掲載店は

今号に登場したお店は
新開地のココにあります!

「まちづくり」!



高田屋京店



お気軽にお越しください!

高田屋のおでんは ゲンコツサイズ!

大きなおでんと銅鍋は高田屋の才! 創業時(昭和6年)から継ぎ足してきた自慢のダシ。旬の料理とおでんを、親しみやすいお店の雰囲気の中でお楽しみください。

大きな
ロールキャベツ!



お薦めメニュー

- おでん(20種類以上) 100円~(税込)
 - 定食(おでん・魚フライ・とりから等) 600円(税込)
- ※魚料理・揚げ物等、たくさんのお料理をご用意しております。

【住】神戸市兵庫区湊町4-2-13 【電】078-575-6654
【時】11:00~21:30 【休】日曜・祝日 【席数】99席(座敷・テーブル)

食彩酒房 大湊



アットホームな雰囲気でお待ちしています。

旬の肴が旨い お値打ちな居酒屋。

寒い季節は「せいろ蒸し」や「お鍋」など、あったまるお料理がオススメです。内容をご予算に応じますので、お気軽にご相談ください。



「せいろ蒸し」4段重で
4種類の味が楽しめます!

お薦めメニュー

- せいろ蒸し(お刺身付、要予約) 5,000円~
- 宴会コース(要予約) 3,000円~

【住】神戸市兵庫区新開地2-3-18
【電】078-575-3833
【時】16:00~翌2:00 【休】無休

魚介類、牛・鶏肉など
季節により内容は
異なります。



イベントスケジュール ～映画・演劇・寄席 etc.～

パルシネマしんこうえん



【住】新開地1-4-3 【電】078-575-7879
 【時】10:30～21:20(番組により異なる)
 【休】無休
 【¥】一般1,200円/パル会員・学生・シニア1,000円
<http://www.palcinema.net/>

- 11/25(土)～12/6(水)
「光をくれた人」「追憶」(2本立)
- 12/7(木)～17(日)
「SING/シング」「ラ・ラ・ランド」(2本立)
※前半(5日間)後半(6日間)で、上映順・上映時間が異なります。

新開地まちづくりNPO



【住】新開地3-3-11
 【電】078-576-1218
 【時】10:00～19:00
 【休】月曜・祝日
<http://shinkaichi.or.jp/>

- 12/2(土)・1/13(土)・2/10(土)
「新開地土曜マルシェ」毎月第2土曜日開催(12月は第1土曜日)
【時】11:00～16:00 【場】神戸アートビレッジセンター1F+新開地商店街
- 12/2(土)～3(日)
「新開地冬まつり2017」
【時】11:00～ 【場】新開地商店街一帯

神戸アートビレッジセンター(KAVC)



【住】新開地5-3-14 【電】078-512-5500
 【時】10:00～22:00
 【休】火曜(祝日の場合は振替)
 【¥】要問い合わせ
<https://kavc.or.jp/>

- 11/18(土)～12/10(日)
若手芸術家支援企画 1floor2017「合目的的不毛論」(美術)
- 12/9(土)～22(金)
「あさがくるまえに」「追想」「夜間もやってくる保育園」「ソニータ」(映画)
- 2/10(土)～23(金)
「プリムストーン」「ありふれた悪事」「幸福は日々の中に」「動いている庭」(映画)

新開地劇場



【住】新開地5-2-3 【電】078-575-1458
 【時】昼の部12:00～/夜の部17:30～(最終日は昼の部のみ)
 【休】月末(中不定休)
 【¥】一般1,800円/老人1,600円/小人1,200円(3歳～小学生)
<http://www.shinkaichigekijou.com/>

- 12/1(金)～25(月)
春陽座(大衆演劇)
- 18.1/1(月)～30(火)
新春公演 二代目 恋川純劇団(大衆演劇)

Cinema KOBE



【住】新開地6-2-20 【電】078-531-6607
 【時】10:30～(番組により異なる) 【休】無休
 【¥】一般1,500円/女性・学生・シニア1,000円
 夫婦50割引2,000円(2名)/最終回1,000円(1本のみ)
<https://cinemakobe.jimdo.com/>

- 11/25(土)～12/1(金)
「ザ・マミー 呪われた砂漠の女王」「CHASER チェイサー」(2本立)
- 12/2(土)～8(金)
「トランスフォーマー 最後の騎士王」「アトラクション 制圧」(2本立)
- 12/9(土)～15(金)
「オペレーションクロマイト」「ザ・ウォール THE WALL」(2本立)

いいひと時間を。

エータイムグループは環境保全活動の一環として太陽光発電施設の運営を行なっております。西区の施設では3804枚の太陽光パネルを使用し、951kwの発電出力を持つことで一般家庭約300世帯分の電力を補っています。店舗及び関連施設のLED化など省エネ活動を推進するとともに今後も低炭素社会の実現に向けた取組みを積極的に進めてまいります。これからもずっと、いいひと時間を。



エータイム神戸第一発電所[神戸市西区]

いいひと時間を。
AoTIME
<http://www.atime.co.jp>

MEGA SOLAR PROJECT
 ●神戸第一発電所
 ●天理岩室町発電所
 ●伊賀柘植町発電所



『神戸・新開地喜楽館』の詳細はWEBサイトでも随時発信中！

<http://shinkaichi.or.jp/engei/>

『神戸新開地・喜楽館』 基礎工事、順調に進捗中！

8月中旬から着工した「神戸新開地・喜楽館」は現在、基礎工事の真っただ中です。この土地にもともとあった建物の基礎が出てきたりして、工期が若干延びたりもしましたが、来年春の竣工、夏頃のオープンを目指して順調に進捗しています。毎日のように工事現場を覗いては楽しみにしてくださっている地元の人もいるそうで、現場監督からそんな話を聞かされたときに事務局もうれしくなります。

建物は、大阪の天満天神楽昌亭が「和」だとすれば、神戸新開地の喜楽館は「洋」のイメージ。提灯は赤ではなく白色。座席シートも港町KOBELらしく青色に。ハイカラでモダンな港町KOBELらしさが伝わる建築デザインを目指しています。建築パースの発表を楽しみにしてください。



新開地2丁目商店街には「建設中」の大きなバナーが掲出され、期待感が高まります。来年春頃には、この辺りに大きな提灯が設置される予定です。



事務局では毎週のように運営委員会がおこなわれ、神戸・新開地にゆかりのある文化人のみなさまにも集まっていたりしながら、お知恵を拝借しています。昼は上方落語の定席、夜は一般貸出も行い、落語はもちろんのこと神戸らしくJAZZのコンサートなど、様々な文化に気軽に触れられる文化施設になるよう準備を進めています。

◆ 『神戸新開地・喜楽館』施設整備にかかる 寄付金ご協力をお願い ◆

エントランスデザイン、装飾、設備、演芸備品、周辺環境整備等につきまして、引き続き「施設整備にかかるご寄付のお願い」をさせていただいております。ご寄付をいただいた皆様からは、新開地の思い出話とともに激励のお言葉をいただいたり、ずっしりと重たい500円玉貯金箱を持ってきてくださった方もいたり、ご寄付エピソードだけで一冊の新開地本になりそうなくらいで、スタッフ一同嬉しい悲鳴を上げています。

今後も継続的に募集をしておりますので、ご協力・応援いただきますよう、よろしくごお願い申し上げます。なお、ご寄付をいただいた方には、館内に芳名版を設置しお名前を掲載させていただきます。詳しくは、WEBページ、チラシをご覧ください。

<http://shinkaichi.or.jp/engei/>

神戸新開地・喜楽館

- 敷地面積 約500平方メートル(2階建て)
- 席数 約200席(1階150席、2階50席)
- 運営主体 特定非営利活動法人 新開地まちづくりエヌビーオー
- 計画地 神戸市兵庫区新開地2丁目内の商店街本通りに面した敷地約500平方メートル
- アクセス
・各線「新開地駅」徒歩2分
(神戸高速・阪神・阪急・山陽・神戸電鉄)
・JR「神戸駅」徒歩15分
・神戸市営地下鉄「湊川公園駅」徒歩5分
・神戸電鉄「湊川駅」徒歩5分
- 公演 昼は落語中心の定席公演、夜は貸館

『神戸新開地・喜楽館』応援寄席

三月まで毎月第四土曜日好評開催！

日時:12月23日(土)／1月27日(土)／2月24日(土)／3月24日(土) 14:00開演(13:30開場) 定員:50名(予約先着)
会費:1,000円(『神戸新開地・喜楽館』への寄付金とさせていただきます) 会場:神戸市兵庫区新開地2-5-5 ライオンズプラザ2F集会
予約:開催月第1火曜日(1月は第2火曜日)10:00～/電話予約にて(Tel.078-576-1218)
主催:神戸新開地・喜楽館 利用促進協議会 事務局:新開地まちづくりNPO(Tel.078-576-1218)



次号Vol.52は 3月下旬 発行予定です。お楽しみに！

新開地オモシロ情報サイト「新開地ファン」 <http://shinkaichi.or.jp/>

発行:新開地周辺地区まちづくり協議会
(特定非営利活動法人 新開地まちづくりNPO)
TEL:078-576-1218 FAX:078-576-1219